

令和7年度第2回郷土文化館協議会 概要

1 日 時 令和8年2月12日(木) 午後2時～午後3時25分

2 会 場 松永記念館本館2階

3 出席者

(1) 郷土文化館協議会委員

田尾委員長、山下副委員長、大西委員、高橋委員、田嶋委員、星野委員、山田委員

(2) 市事務局側

大木部長、湯浅副部長、蓑宮生涯学習課長、岡田係長、土屋係長、吉野主事、喜田主事捕

4 会議の概要

田尾委員長の進行で以下のとおりの報告・協議がなされた。

・議題2 報告事項(1)「令和7年度下半期郷土文化館事業について」(資料1～6)

このことについて、まず会議資料に沿って事務局から概要を報告した。報告後、次のような討議が行われた。

ア「令和7年度下半期 松永記念館入館者数」(資料1-2)について

- ・入館者のカウント方法についての質問が委員からあり、敷地に入った人を職員が数えてカウントしていると事務局から回答した。
- ・近隣にある大窪小学校の児童は、松永記念館付近が通学路であり、庭園内で遊んでいるのを見たことがある。学校との連携が計れることを検討してはどうかという意見が委員から出された。
- ・敷地の入館者を測ることも必要だが、委員としては展示を観覧した人数も知りたいという意見が委員から出された。

イ「令和7年度下半期 学校利用状況」(資料1-3)について

- ・自然科学分野の学芸員が不在の中、ジオパークを意識した内容の出前授業についての質問が委員からあり、地層の成り立ちや地質についての内容を中心にしつつも考古学よりの内容とし、関東ローム層の露頭を見学するなどを授業として行ったと事務局から回答した。
- ・これからも小学校の要望に合わせた内容で授業を行っていけると良いという意見が委員から出された。
- ・専門外の内容で出前授業を行う際は、協議会の委員の力を借りてもかまわないという意見が委員から出された。
- ・出前授業の要請があった場合は、全ての案件に対応しているのかという質問が委員から

あり、日時や取り扱うタイミングなどを小学校と調整しながら可能な範囲で出前授業を行っている」と事務局から回答した。

- ・出前授業には資料をもっていく機会もあると思うが、博物館資料として登録をしたものをもっていくのかという質問が委員からあり、展示物ではなく教育普及用に収集したものをもっていき、万が一劣化や破損があっても対応できるようにしていると事務局から回答をした。

- ・出前授業を依頼したことがない小中学校から依頼をしてもらうために、郷土文化館に所属する学芸員の専門や出前授業ができる内容を各小中学校に示すことで、学校側が相談しやすいのではないかという意見が委員から出された。

- ・県立博物館でも同様のことを行っているが、人気のある分野など極端に偏りがある。教科によっては専任がおり、出前授業の依頼があるのかもしれないという意見が委員から出された。

- ・最近の博物館の展示では、分野を横断した展示が見られる。出前授業の内容もそのようにしてもよいと思うという意見が委員から出された。

ウ「令和7年度下半期（10月～3月）展示事業 実施概要」（資料2-2）について

- ・現在展示をしている横田七郎氏は、西相美術協会員のなかでも知る人が少なくなっている人物であるので、会で発行する書籍の中で紹介することを計画している。展示期間やその他の情報を掲載させてほしいという意見が委員から出された。